

シンポジウム

読書好きへの扉

読書は人生を豊かにしてくれます。幼いころに出会う児童文学や幼年文学は、子どもたちが読書の喜びを知るきっかけとなります。大人になって、過去に読んだ本と再会する喜びを味わうには、子ども時代の読書が欠かせません。

若者の活字離れが言われて久しいなか、読書の大切さをどう伝えていくか、親として読書の喜びをわが子にどう伝えるか、作家、企業人、研究者などに、それぞれの経験から「読書好きへの扉」をたたくヒントを語っていただきます。

日時：2018年10月10日（水）18：30～21：00〔開場予定18：00〕

場所：日経ビル 6階 カンファレンスルーム（東京都千代田区大手町1-3-7）

<プログラム> ※敬称略

主催者挨拶 吉田直人（日本経済新聞社 常務取締役）
阿刀田高（文字・活字文化推進機構 副会長）

第1部 基調講演
「キキの魔法～魔女の宅急便と私」
角野栄子（児童文学作家）

第2部 パネル討論
「読書の喜び 出会い・再会」
藤嶋 昭（東京理科大学前学長、名誉教授）
さくまゆみこ（翻訳家、編集者）
竹増貞信（ローソン社長）
司会 森本智子（テレビ東京アナウンサー）



【主催】日本経済新聞社、公益財団法人文字・活字文化推進機構



かどの えいこ

角野栄子 < 児童文学作家 >

東京都生まれ。1970年にブラジル・サンパウロの少年を描いた『ルイジニョ少年 ブラジルをたずねて』でデビュー。代表作『魔女の宅急便』で野間児童文芸賞、小学館文学賞などを受賞し、作品はアニメ映画や実写映画、ミュージカルなど、様々な形で親しまれ続けている。紫綬褒章、旭日小綬章、2018年国際アンデルセン賞作家賞を受賞。近年の作品に2015年の『トンネルの森 1945』などがある。



ふじしま あきら

藤嶋 昭 < 東京理科大学前学長、栄誉教授 >

1942年生まれ。専門は光触媒や機能材料。1971年3月東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。東京大学大学院教授、神奈川科学技術アカデミー理事長、JR東海機能材料研究所所長、日本化学学会会長などを歴任。2010年1月から2018年3月まで東京理科大学学長。現在は同大学栄誉教授で、光触媒国際研究センター長。紫綬褒章、日本学士院賞など受賞多数。2010年文化功労者、2017年文化勲章を受章。



さくまゆみこ < 翻訳家・編集者 >

日本国際児童図書評議会（JBBY）会長。アフリカ子どもの本プロジェクト（JACBOP）代表。2016年まで青山学院女子短大子ども学科教授。著書に『エンザロ村のかまど』、『どうしてアフリカ？ どうして図書館？』など。訳書は、『シャーロットのおくりもの』、「リンの谷のローワン」シリーズ、「ホーキング博士のスペースアドベンチャー」シリーズ、『路上のストライカー』など絵本からYA小説まで約250点を出版している。



たけますさだのぶ

竹増貞信 < ローソン社長 >

1969年生まれ。1993年に大阪大学経済学部を卒業し、三菱商事に入社。米国勤務や本社広報部、総務部、経営企画部での社長秘書などを経て、2014年5月にローソン副社長兼 CVS カンパニー法人営業本部長に就任。ローソンのグループに新たに加わったスーパーの「成城石井」や映画館運営の「ユナイテッド・シネマ」などの事業を統括。2016年に社長に就任した。



もりもともこ

森本智子 < パネル討論司会・テレビ東京アナウンサー >

長崎県生まれ。2000年にテレビ東京入社。主な担当番組は「主治医が見つかる診療所」、「リトルトーキョーライフ」、「日経プラス10（BSテレ東）」木曜・隔週金曜担当、「日経プラス10サタデー ニュースの疑問（BSテレ東）」隔週担当。